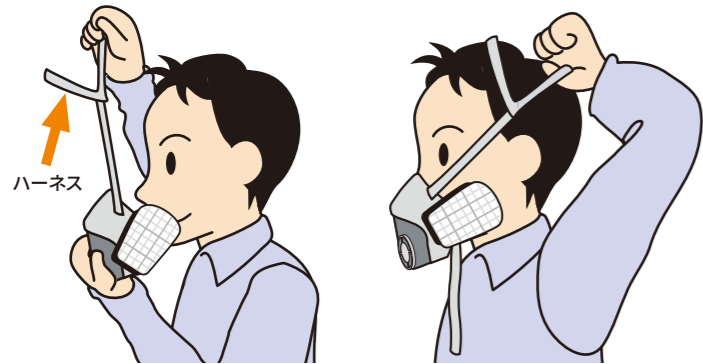


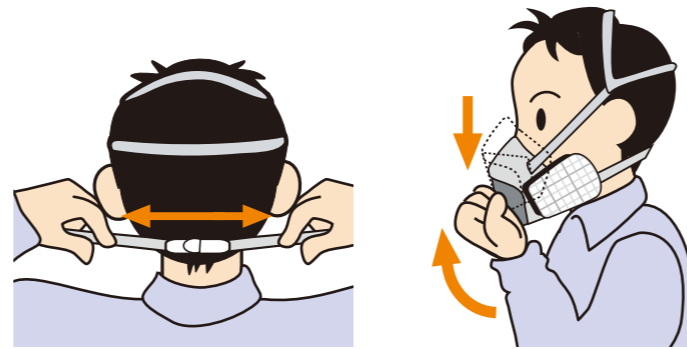
3M™ 防毒マスク 面体 6000 (半面形面体) 装着方法

1 ハーネスを頭にのせる



マスク本体を片手で持ち、ハーネスを頭頂部に乗るようにかけます。この時ひものよじれがないようにかけてください。

2 しめひもを調整



下側のしめひものバックルを首の後ろで掛け、調整します。アゴがマスクに乗るように位置を調整し、次に上側のしめひもを調整します。面体がつぶれるなどの変形を起こすほど強くしめ過ぎないように注意してください。

3 漏れ込みがないか確認



最後にマスクと顔の密着の良い場所に合わせるようにもう一度位置を調整してください。これで装着完了です。

Point 1 密着性の検査

フィットチェックツールの先端を指でつまみ息を軽く吐き出します。面体が少し膨らみ、顔との間から漏れがなければよいフィットが得られています。顔と面体の間から空気が漏れるようであればマスクの位置やしめひもの強さを調整しなおしてください。

ゴム製のフィットチェックツール（別提供）をツールの溝と排気弁カバーの排気口のリップに合わせて差し込みます。

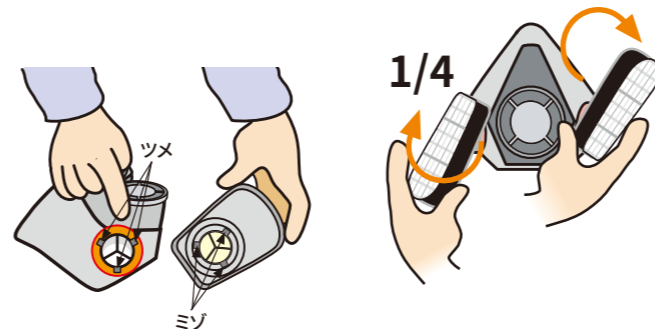


フィットチェックツールがない場合は、片手で排気弁の前を塞ぐことで、ユーザーシールチェックを行えます。



Point 2 ろ過材を正しくセット

3M™ ろ過材の取り付けは、ろ過材の3つのミゾを面体の3つのツメに合わせ、軽く押さえつけるようにしながら、時計方向に1/4ほど回転させます。「カック」と感じたところで止まります。

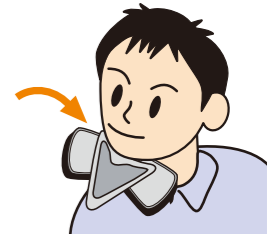


凸凹を合わせて、回す!

両方とも時計方向です!

Point 3 アゴを乗せる

アゴをマスクに乗せるようにするとアゴが包み込まれ、正しくフィットします。防毒マスク 面体6000にはS、M、Lの3サイズがあります。ご自分に合ったサイズをお選びください。
※サイズ選択の目安はカタログを参照または、マスクサイズチェッカーをご利用ください。



Point 4 アゴと鼻に要注意

アゴがマスクから出ていると、鼻の位置もズれることになり漏れ込みの原因になります。

